

研究課題名「日本における自宅死亡割合と医療資源との関連の地理 情報システムによる空間分析に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

日本全国内の市町村

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：2019 年から 2024 年の日本全国を対象に、市町村レベルの在宅医療資源の地理的分布や人口カバー率と病院資源の地理的分布やアクセシビリティの変化が自宅死亡割合の変化とどのように関連するかを GIS を用いた空間分析により検討すること

研究方法：

本研究では、2019 年から 2024 年までに公表されている公的統計データおよび公開資料を用いて分析を行います。使用するデータは、全国の市町村別の自宅死亡割合、病院数および病院の所在地情報、在宅療養支援病院数、在宅療養支援診療所数や所在地情報、訪問看護ステーション数や所在地情報、訪問看護職員数、訪問看護利用者数、在宅看取り件数、病床数、介護資源、人口関連指標、500 メートルメッシュ単位の 65 歳以上人口等です。これらのデータはいずれも公表統計または公開資料に基づくものであり、個人を特定できる情報は含まれません。

本研究では、まず別に自宅死亡割合の年次推移および 2019 年から 2024 年までの変化量を算出し、全国の地域差を把握します。次に、GIS を用いて、在宅医療資源や病院資源の地理的分布を可視化します。さらに、在宅療養支援診療所および訪問看護ステーションについては、半径 16km のサービス圏を設定し、メッシュ単位の 65 歳以上人口データを用いて 65 歳以上人口カバー率を算出します。病院資源については、各メッシュの中心点から 病院までの自動車移動時間を算出し、病院への空間的アクセシビリティを評価します。そのうえで、記述統計、年次推移の把握、空間分析や多変量解析を行い、在宅医療資源の地理的分布、65 歳以上人口カバー率、病院への空間的アクセシビリティの変化が市町村別自宅死亡割合の変化とどのように関連するかを検討します。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦）2027 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」、政府統計の総合窓口（e-Stat）、日本医師会「地域医療情報システム（JMAP）」、地方厚生局の届出受理医療機関名簿、訪問看護事業所名簿、総務省統計局「国勢調査地域メッシュ統計」、国土地理院の地理空間情報、道路ネットワークデータ、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：名古屋市東区大幸南 1-1-20 名古屋大学院医学系研究科総合保健学専攻
高度実践看護開発学 電話：052-719-1109（10～15 時）担当：佐藤、永田

研究責任者：名古屋大学院医学系研究科総合保健学専攻高度実践看護開発学
教授 佐藤一樹